

[経済同友会賞]

一生懸命



愛知県立安城特別支援学校 高等部3年 岸本 百々香

私は今、高等部3年生です。学校では卒業後に向けての勉強を頑張っています。特に職業の授業では、挨拶の仕方や敬語について学んだり、自分の障害について理解したりしています。これまで自分の障害について学ぶ機会はありませんでした。人に説明することもできませんでした。しかし、授業をとおして障害について少しだけ理解でき、人に伝えられるようになってきました。

また、卒業に向けて、私の学校では校内実習と産業現場等における実習をしています。私は6月に2週間校内実習に取り組みました。

校内実習の前に、進路担当の先生から話がありました。特に印象に残っていることは、「仕事は休まないこと」と「身だしなみに気を付けること」です。仕事を何日も休むと信用されなくなってしまいます。だから休まないように気を付けようと思いました。また、身だしなみについては、人に良い印象を与えるために大切だと言われました。これまでも身だしなみには気を付けていましたが、実習に向けて意識して気を付けようと思いました。

校内実習では、清掃と農作業を行いました。清掃作業では、学校中のトイレと窓をクラスの友達と手分けして行い、農作業は大豆と黒豆の種まきを担当しました。

清掃作業では多くのことを注意されました。まず、トイレ清掃で水はけがうまくできていないことや、ホースをきれいに巻けていないことを注意

されました。水はけができていないと、次に入った人の足下がぬれて困ってしまいます。またホースが巻けていないと、次にホースを使う人が困ったり、トイレに入ったときの印象が悪くなったりしてしまいます。もし私がぐちゃぐちゃになっているホースを見たら、このトイレは使いたくないなと思ってしまいます。そのことに注意されるまで気付きませんでした。注意されてからは、先生に報告する前に、自分で確認をしてから報告するようにしました。そして注意されたことはその場ですぐに直すようにしました。

次に窓清掃では、水拭きした後の水滴が残っていたことや、窓のさんが拭けていないことを注意されました。水切りができず水滴が残っていると乾いたときに窓が汚れてしまい、もう一度清掃しないといけなくなってしまいます。だから次からは最後まで丁寧に水切りをするように心掛けて清掃しました。注意していただいたおかげで、校内実習が終わるころには窓清掃が上手にできるようになりました。窓清掃をして、一つ一つ丁寧に繰り返して取り組むことで、積み重ねが自分の力になっていくことを学ぶことができました。

清掃をしていると、廊下を通った小学部の先生に「きれいになったね」「ありがとう」と声を掛けていただきました。とてもうれしかったです。それまでは特に意識していませんでしたが、感謝されて周りのみんなのために働いていることに気付き、清掃のやりがいを感じました。これからも、

清掃のときにはこの気持ちを忘れずにきれいにしたいと思いました。

私はこれから産業現場等における実習へ行きます。私が行く会社は車の部品を作る仕事をしています。初めての仕事で不安なこともあります。校内実習で学んだことを生かして頑張りたいと思います。

校内実習や産業現場等における実習をきっかけに、家でお母さんと仕事について話しました。仕事は大変かを尋ねると、お母さんは「働くことは大変」と言っていました。お母さんの仕事では、特に不良品が出てしまうと大変だそうです。その話を聞いて、やはり働くことは大変だと感じました。しかし、その話をしているお母さんからは仕事に対する責任が伝わってきました。

私は、校内実習の2週間、毎日同じような仕事を続けてとても疲れました。違う仕事をしたいなと思うことや大変だなと思うこともありました。しかし、会社での仕事は入社してからずっと同じ仕事をします。産業現場等における実習では、卒業後に働かせていただくために、一生懸命仕事を覚えて働かなくてははいけません。また、就職したらお給料をもらうので、さらに責任も重くなります。それぞれの立場で責任をもって働くために、同じ仕事でも精一杯取り組めるよう頑張ります。

私は安城特別支援学校を卒業して会社で働くようになったらお給料をもらいます。お給料をもらったらやりたいことが三つあります。

一つ目は、家族みんなで旅行に行くことです。私の家族は五人家族です。昔はみんなでよく旅行に行っていましたが、最近は弟の部活動があって、家族そろって出かけることがなくなりました。私が働いてお給料をもらえたら、家族全員そろったときに旅行に連れて行ってあげたいと思います。

二つ目は、お母さんと一緒にアイドルのライブに行くことです。今はお母さんにお金を出してもらってライブに行ったり、グッズを買ってもらったりしているので、これまでのお返しをしたいと

思っています。

三つ目は、いつも忙しく家族のために働いてくれているお母さんにゆっくりさせてあげたいと思います。私のお母さんは、外で仕事をしながら、家でも私や弟のために家事をしてくれています。そんなお母さんにゆっくりと過ごしてもらうために、私とお母さんの二人で温泉に行きたいなと思います。

まだ今は卒業後の自分の姿を想像するのは難しいです。不安なこともたくさんあります。それでも立派な社会人になれるように、これから行う産業現場等における実習や学校生活を一生懸命頑張りたいと思います。そして両親に親孝行します。

